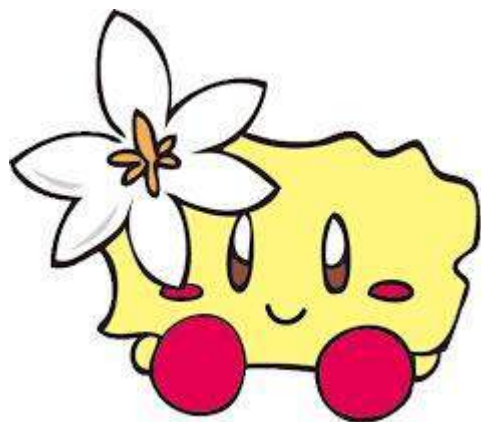
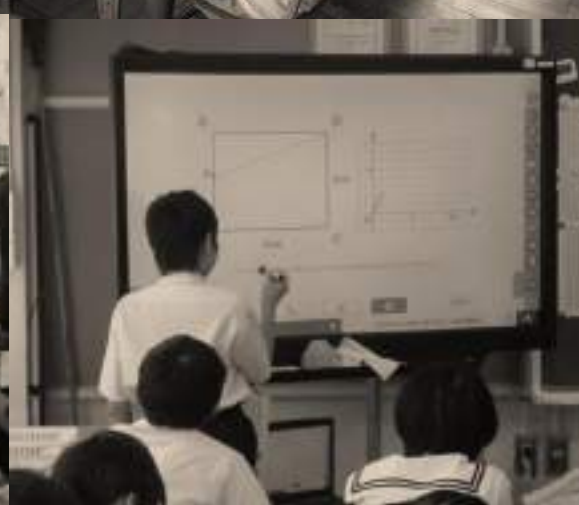


平成29年度 第49回 愛知県学校視聴覚教育研究大会



大府市公式
マスコットキャラクター
おぶちゃん

平成29年10月19日(木)
大府市役所 多目的ホール



主体的・協働的に学ぶ子どもの育成

～ICT機器を活用した『大府市の授業』の構築～



**ふるさとを愛し
世界にはばたく大府の子**

めざす児童・生徒像

- ・ 自己の考えをもち、他者と意見を交わし合いながら、問題解決に向けて主体的に取り組むことができる児童・生徒

研究の仮説

- ・ 「自力学習」「協働学習」「発表」「考えの再構築」を明確に位置付け、ＩＣＴ機器を効果的に利活用する『大府市の授業』を行うことで、めざす児童・生徒像に迫ることができるであろう。

ふるさとを愛し、世界にはばたく大府の子

めざす児童・生徒像



教師の力量向上

研修会
情報交換
教育コンテンツ集約

ICT活用環境整備

ICT支援員の確保
トラブル対応
環境改善
システム更新

大府市の授業

指導方法の工夫改善

自力学習

ICT機器の
効果的活用

協働学習

発表

再構築・振り返り

研究の方法

『大府市の授業』づくりの手だて

- 児童・生徒の意欲が高まる授業の工夫や課題提示の工夫
- 「自力学習」「協働学習」「発表」「考えの再構築」の明確な位置づけ
- デジタルワークシートを活用した個に合わせた学習負荷や振り返り活動

ICT機器の
効果的活用

研究の方法

大府市ICT教育推進委員会の手だて

- I C T 機器が快適に動作する環境の整備
- 大府市教育情報化コーディネータ、教育委員会、小中学校の連携による組織的な運営
- I C T 支援員・ヘルプデスクとの連携強化によるサポート体制の確立

ICT教育推進委員会



ICT教育計画部



研究・研修推進部



情報モラル教育部



広報・評価活動部





ICT教育計画部

- 教育計画の作成・見直し
- 各校の活用状況の把握や支援
- 大府市ICT教育資料ライブラリ
 - ・有効なコンテンツの策定や集約
 - ・自作教材の集約や提供
- 事例集・活用例集の作成





研究・研修推進部

○授業実践・研究授業の実施

- ・定期的な研究授業の開催
- ・各校での授業研究活動の掌握
や情報提供

○研修会の実施

- ・新システムや新規導入ソフトウェア等の操作技術研修会の企画
運営





情報モラル教育部

- 情報モラル教育支援ソフトウェアの
効果的な活用方法の検討
 - ・モデルプランの作成
 - ・活用事例の紹介
- 情報モラル指導カリキュラムの作成
 - ・発達段階に応じた学習内容





広報・評価活動部

○各種広報活動

- ・たより等、各校間での様々な情報集約や発信
- ・大府市HP等での情報発信

○効果測定調査の実施・分析

○タブレット稼働率の調査・集約

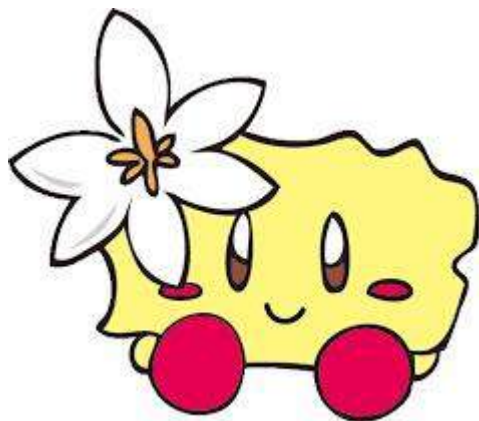


ICT教育推進小委員会

- 教育の情報化のビジョン策定
- 整備計画の作成と整備
- ICT教育推進体制の整備と校務の効率化
- ICT支援員・サポートデスクの体制整備
- 事業評価・学校評価



『大府市の授業』の実践



授業実践

小5
社会



中1
国語



小3
音楽



単元 つながりの中で

目標 漢字の音訓の多様性を理解する



中1 国語

実践例 1

- ・ デジタルワークシートを活用し、一人一人の考えをクラスで共有することで、様々な意見に触れさせる。
- ・ 自分の考えを近くの生徒と確認し合うことで、相手の考えを知り、自分の考えを伝える活動を取り入れる。





単元 世界から見た日本

目標 場所による気候の違いを、地形の特色や
季節風と関連付けて考えることができる



小5 社会

実践例 2

- ・ 地図と雨温図をデジタルワークシートで作成する。
- ・ グループで話し合わせ、その後、電子黒板で話し合った結果を発表させる。
- ・ 各班で再検討をする。





ICT支援員との授業づくり

小3 音楽

実践例 3

単元 こんにちは リコーダー

目標 曲を演奏したり、シラソの音でリレー
遊びをしたりすることができる。



小3 音楽

実践例 3

- ・ デジタルワークシートに、自由にメロディーを描く。
- ・ グループでお互いのメロディーを演奏し合う。
- ・ 児童のメロディーをつなぎ合わせ、クラス全員でリレー遊びで演奏する。





自信をもって発表

成果と課題



推進委員会の成果

- 市全体で活用状況や利用方法を情報交換することで、機器の活用が進むとともに、教員の意識が高まった。
- ICT支援員やサポートデスクによる対応で、授業づくりがスムーズに進められた。
- 学習満足度調査アンケートにより、市内統一の視点で現状を把握し、今後の課題の掌握をすることができた。

大府市の授業の成果

意見をもつこと、話すこと、聞くことが積極的になり、子どもたちの意欲が高まった。

聞く力が向上したことで、自分の考えを見つめ直す活動がより効果的に行われた。

I C T 機器の活用により、瞬時に子どもたち相互の情報交換や情報の共有が行われ、効率よく学習目標に迫ることができた。

デジタルワークシートを活用することで、やり直しが容易になり、試行錯誤をテンポよく行うことで、学習によりリズムが生まれた。

課 題

学力向上への効果測定を行うとともに、小中がさらに連携をして、操作力やリテラシーを高める。

協働学習をさせるための手法や教師のコーディネート力など、教師の力量をさらに高めていく。

さまざまなツールとの併用も含め、ICT機器に振り回されることなく、利点を生かしていく。



ふるさとを愛し

世界にはばたく大府の子



ご清聴ありがとうございました。

